

「総合知の実践」を通じ地域社会に新たなイノベーションを創出する研究・教育組織

山形大学 社会共創デジタル学環

山形大学 社会共創デジタル学環(CID)は、人口減少や高齢化に伴って顕在化する多面的・複合的・流動的な社会課題に対し、「総合知の実践」を通じ地域社会に新たなイノベーションを創出する研究・教育組織である。当該部署では、課題を共に考え、共に実践する教育・研究を通じ、①多様なステークホルダーと協働し課題解決策を企画・実施する「マネジメント力」、②データやAIを駆使して価値を生み出す「デジタル利活用力」、③文理を横断する知と論理的思考による「学際的思考力」を総合的かつ段階的に育成する。これらの共創実践演習・研究を通じ、学際的な総合知を地域で実践し、地域社会におけるソーシャルイノベーションの実現を目指す。

総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

人口減少や高齢化に伴い顕在化する多面的・複合的・流動的な地域課題に対し、総合知の実践を通じて新たな価値とイノベーションを創出する。多様な人々が支え合い、豊かな人生を描き暮らし続けられる地域社会の実現を目指す。

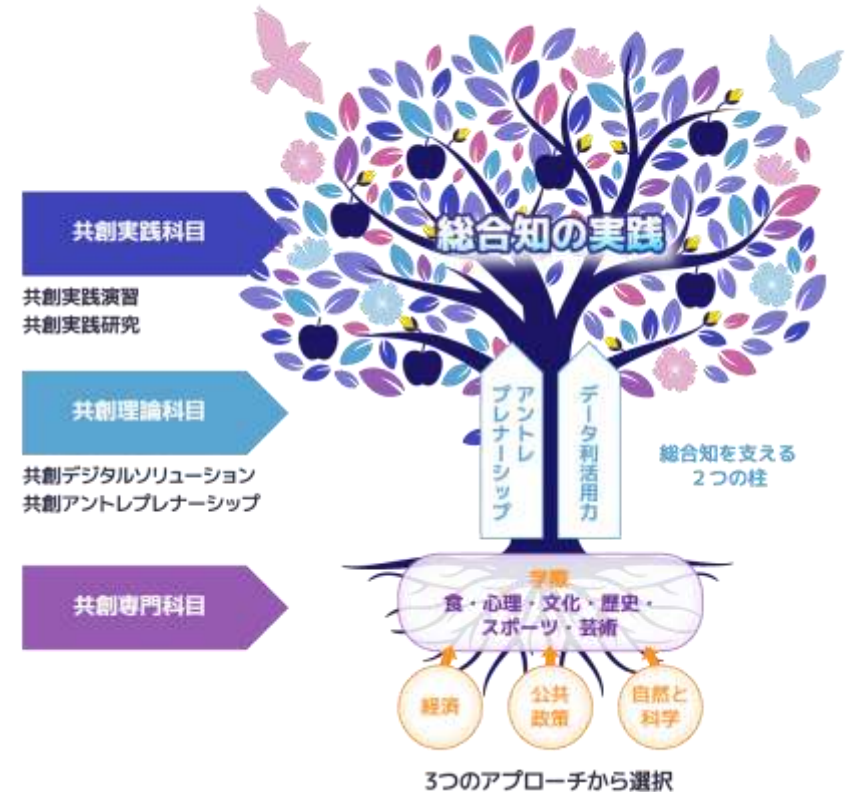
総合知人材の育成方法/育成方法の工夫

多様なステークホルダーと協働する実践的教育を通じ、マネジメント力やデジタル活用力、学際的思考を段階的に育成する。アントレプレナーシップとデータ分析力を軸に、文理横断の学びとグループ学習を通じて企画立案力を高め、実践演習で地域課題に取り組む。

「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

自治体・行政機関と大学が一体となり、人口減少や地域産業、防犯・防災等の課題に取り組む体制を構築した。具体的には、学生が現場データと実務者協働を通じて解決策を立案・検証し、地域の実情に根ざした学びを通じて、社会と大学が価値を創出する持続的な連携基盤を形成した。

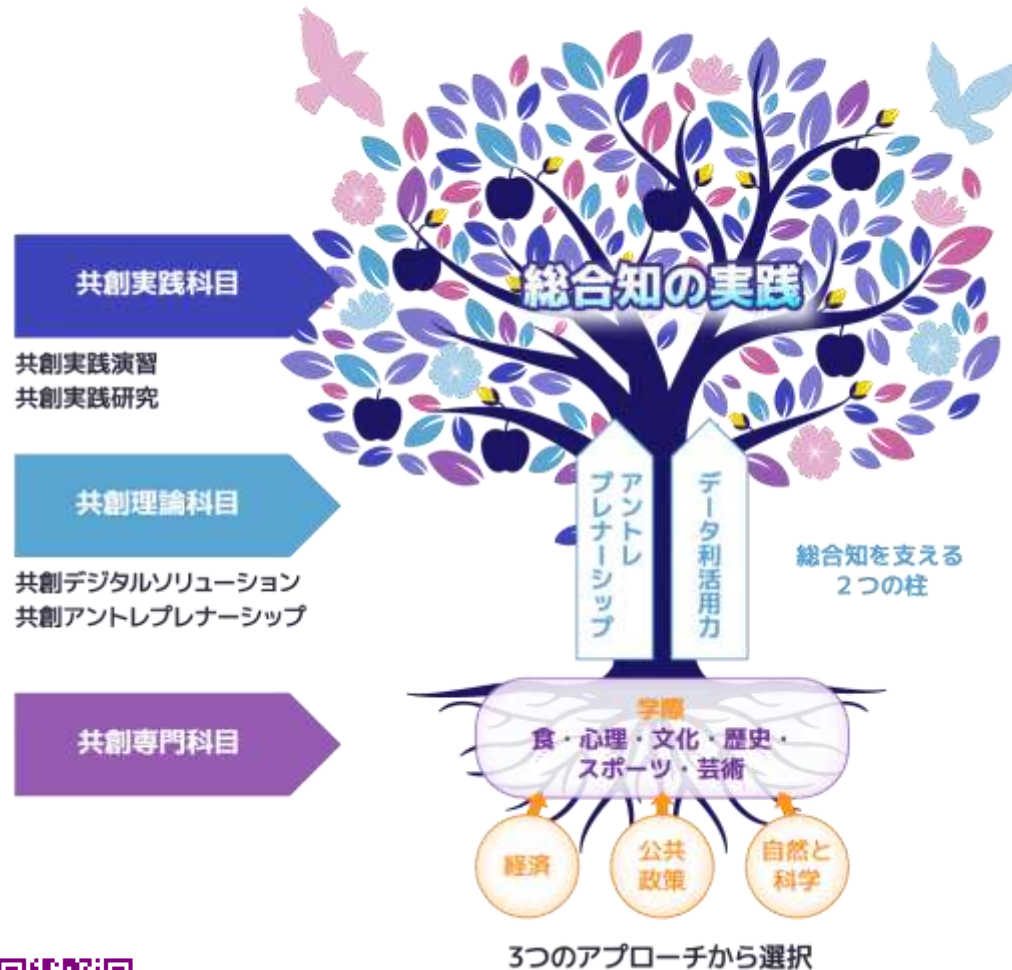
社会共創の視点と素養を備え、新たな日本社会を切り拓く人材を輩出



山形大学 社会共創デジタル学環

「総合知の実践」を通じ地域社会に新たなイノベーションを創出する研究・教育組織

社会共創の視点と素養を備え、新たな日本社会を切り拓く人材を輩出



総合知の特徴を活かした教育プログラム

【総合知】共創専門科目

【実践】共創実践研究

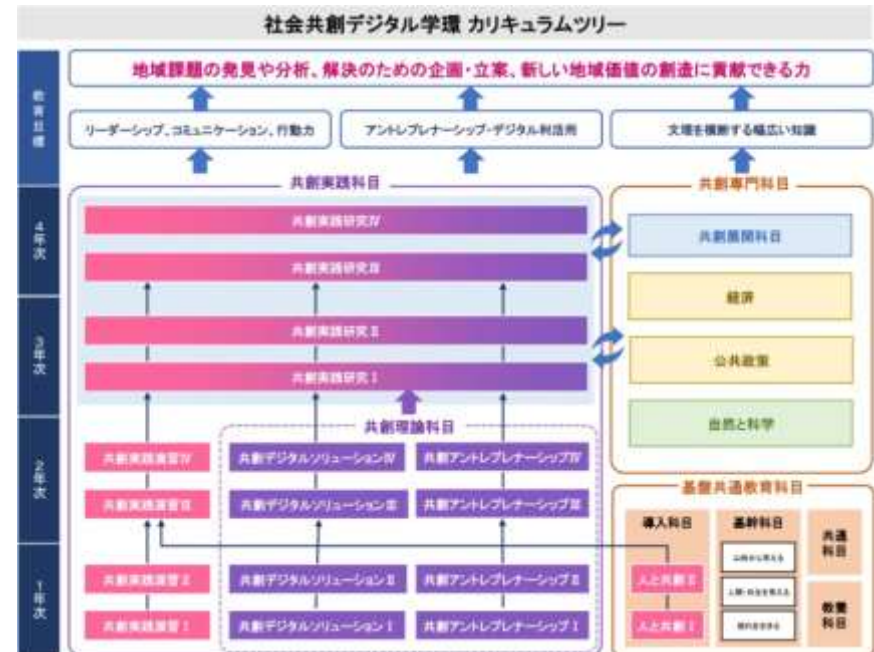
学生は、「経済」、「公共政策」、「自然と科学」の一つを軸として選択し、さらに共創学際科目（心理、文化、歴史、食、スポーツ）から、より実践に必要な科目群を履修する。3～4年次の実践研究で地域で調査、活動等の研究を実施する中で必要とする専門をそれぞれのニーズに応じて履修する

3～4年次において多面的・複合的・流動的な社会課題を解決に導くために、学生の研究課題に対し、複数の専門教員（社会人を含む）をマルチメンターとして配置し、チームで研究活動をサポートすることで、総合知と実務知の視点を融合させ、実践的に地域課題に取り組む

総合知の実践のための教育環境

オープンイノベーションラボ

共創実践研究を実施する研究環境として、研究者、自治体、企業など様々なステークホルダーが同一空間で技術やアイデアを持ち寄り新しい価値を共に生み出していく実践の場としてオープンイノベーションラボを配置した



公式 Youtube <https://www.youtube.com/@山大学環>

公式ホームページ <https://www.cid.yamagata-u.ac.jp/>

